

令和5年5月吉日

呂太夫改め十一代目豊竹若太夫の襲名について



このたび、人形浄瑠璃文楽座・太夫で切語り（太夫の最高位）の豊竹呂太夫が十一代目豊竹若太夫^{わかたゆう}を襲名する運びとなりましたので、お知らせいたします。

豊竹若太夫の名跡は、義太夫節の元祖竹本義太夫の高弟竹本采女^{うねめ}が独立して豊竹座を創設（1703）するに際に名乗ったもので、豊竹姓の元祖であり、義太夫界における由緒ある名跡です。この度の襲名は、十代目が昭和42年（1967）に逝去して以来、57年ぶりの名跡復活となります。

新・若太夫は昭和22年（1947）大阪府出身、十代豊竹若太夫の孫に当たり、同42年に三代竹本^{はるこ}春子太夫に入門、その後四代竹本越路太夫^{こしじ}門下となり、平成29年（2017）に祖父の前名豊竹呂太夫を六代目として襲名、令和4年4月に切語りに昇格、後進の指導に尽力するとともに、新作文楽への出演や他の分野の実演家と積極的に競演するなど、活動の枠を広げています。

- ・ 呂太夫改め十一代目豊竹若太夫の襲名披露は、令和6年4月大阪、5月東京における文楽本公演で行う予定です。
- ・ 披露演目等については調整中です。詳細は秋頃に発表の場を設ける予定です。

公益財団法人文楽協会
独立行政法人日本芸術文化振興会